10 月 28 日、9 期の参加者 42 名は予定通り 8 時に新都心を出発。東北道白河ＩＣから那須連山の甲子トンネルを抜けると美しい紅葉から山々は白い雪景色に変わり会津下郷町に入る。

昼食は会津産蕎麦の石臼挽自家製粉手打そばを「五晃苑」で歯ごたえを感じる美味しいざるそばと野菜天ぷらセットです。

食後は塔のへつりを見学、浸食と風化で山の岩が飛び出し地元ではミニグラウンドキャニオンと言われますが規模が違います。

大内宿は江戸時代の街並みを今に残す宿場。下野街道と呼ばれた会津と日光を結ぶ街道の両脇には茅葺屋根の民家が 30 軒以上並び、国の重要伝統的建造物保存地区に選定され全国的に脚光を浴びています。

宿泊は会津の奥座敷と呼ばれる東山グラウンドホテルへ 4 時過ぎに到着、東山温泉は山に囲まれたすり鉢の底のような平坦地に何軒かのホテル、旅館が立ち並びこのホテルには観光バス 5～6 台が横付けされ大変混んでいました。

9 期の宴会は 6 時からです、大広間の座敷の貸し切りで整然と並んだ御膳の前に座ると会社の慰安旅行を思い出します。大勢の人々が一堂に食事をする喜びと歓談で絆の強まりを感じました。宴会場や車中のカラオケもあり初めて同僚の歌を聞く人も多かったのではないでしょうか。

29 日の会津地方は朝からからりと晴れ、ＮＨＫ大河ドラマ「八重の桜」でおなじみの鶴ヶ城見学から裏磐梯より磐梯山を越えて五色沼の一つ毘沙門沼より山頂の爆発跡を眺め明治の 300 余名の犠牲者が出た事と御嶽山の爆発が重なって見えてくる。

地ビール館で昼食後、猪苗代湖麓の野口英世記念館と英世生家を見学して福島を離れる。

今回の一泊旅行では企画部の皆さんの協力で車中でのゲームや部屋割り、宴会場席順など各々の能力を発揮され楽しい旅行になり感謝いたします。

武蔵野交通のバスガイドの御須さん地元さいたま針ヶ谷にお住まいで、我々と変わらぬ年齢ながらテキパキと添乗員の役もこなし飾らぬ言葉で親しみを感じ、何より各地の歴史に詳しく色々と勉強になりました。笑いの楽しい 2 日間有難うございました。